

ANABAS  
audio

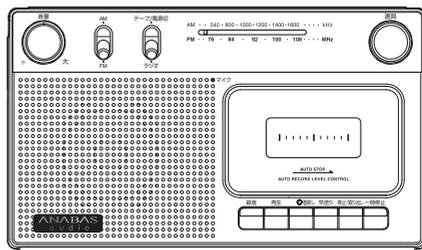
ラジオカセットレコーダー

RC-45

取扱説明書

保証書付

保証書に、お買い上げ日、販売店などが  
記入されていることをご確認ください。



## ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後まで  
お読みのうえ正しくお使いください。

日本国内専用

FOR USE IN JAPAN ONLY

お買い上げいただきありがとうございます。

なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

## 目次

● 安全上のご注意.....	2	● お手入れ.....	16
● 梱包品.....	5	● 本体のお手入れ.....	16
● 各部の名前.....	6	● 電源プラグのお手入れ.....	16
● 基本的な使い方.....	8	● テープヘッドのお手入れ.....	16
● 電源を準備する.....	8	● 故障かな?と思ったら.....	17
● 機能を切り替える(電源の入・切).....	9	● 仕様.....	18
● 音量を調整する.....	9	● 保証とアフターサービス.....	19
● カセットテープの聞き方.....	10	● アフターサービスについて.....	19
● カセットテープを再生する前の準備.....	10	● 保証書.....	20
● カセットテープを再生する.....	10		
● カセットテープについて.....	11		
● ラジオの聞き方.....	12		
● アンテナを調整する.....	12		
● カセットテープへの録音.....	13		
● ラジオからの録音.....	13		
● 内蔵マイクからの録音.....	14		
● イヤホン端子の使い方.....	15		

# ● 安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は、次のようになっています。

## ■【記号の意味】

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 <b>注意</b>	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---------------------------------	---	--------------------------------

## ■【本文中に使われている絵表示の意味】

 <b>禁止</b>	 <b>分解禁止</b>	 <b>ぬれ手禁止</b>	 <b>水ぬれ禁止</b>	 <b>指示を守る</b>	 <b>プラグを抜く</b>
--	---	--	--	--	---

## ⚠ 警告



プラグを抜く

発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



確実に差し込む

電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。  
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。



分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。  
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ・電源コードに触れない

野外で使用していて、雷が鳴り出したら、アンテナを折りたたみ安全な場所に避難する  
感電の原因となります。

# 警告



プラグを  
抜く

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



つぎのこと  
を守る

電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

- 傷つけない
- 延長するなど加工しない
- 加熱しない・引っぱらない
- 重い物を載せない・はさんだりしない
- 無理に曲げない・ねじらない
- 束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。



入れない

機器の上に物を置いたり、異物を入れたりしない

金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、感電・火災の原因となります。  
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。  
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



プラグを  
抜く

内部に水や異物等が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



ほこりを  
とる

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



禁止

次のような場所には置かない

- 風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
  - 雨、きりなどが直接入り込むような場所
  - 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 炎天下の車内・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所
  - 振動の強い場所
  - 腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
  - 極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
  - ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
- 火災・感電の原因となります。

## ⚠ 注意



### 機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止



### 長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止



### 長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

禁止



### 持ち運ぶときは、アンテナをまとめ、電源プラグをコンセントから抜く

けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

禁止



### 音量に注意

- ・初めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷つけることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- ・電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

指示を守る



### 電源プラグは容易に手が届くコンセントに接続する

主電源スイッチを切っても電源から完全には遮断されていません。万一の事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くことができるコンセントに接続してください。

指示を守る



### 電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

プラグを抜く



### 結露が生じた場合は、結露がとれてから使用する

寒いところから急に暖かい場所へ移動すると、結露が生じる場合があります。この状態で使用すると、正しく動作しなかったり、感電・故障の原因になる場合があります。このような時は電源プラグを抜き、1時間ほどその状態で放置し結露がとれてからご使用ください。

指示を守る



### 乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る。

- ・単2形乾電池以外の電池は使用しない
- ・極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- ・充電・加熱・分解・ショートさせたり、火の中に入れない
- ・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
- ・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- ・本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない
- ・長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す
- ・水に濡らしたり、濡れた手で触れない

指示を守る

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

## ■ 免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

## ■ 著作権について

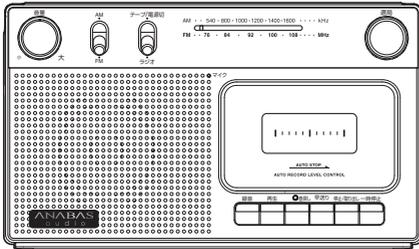
- 音楽、映像などは著作権法により、その著作物および著作権者が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみおこなうことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製、改変などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

## ■ 録音について

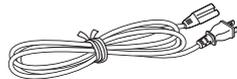
- 取り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。

# ● 梱包品

ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お問い合わせになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。



ラジオカセットレコーダー  
RC-45(本機)

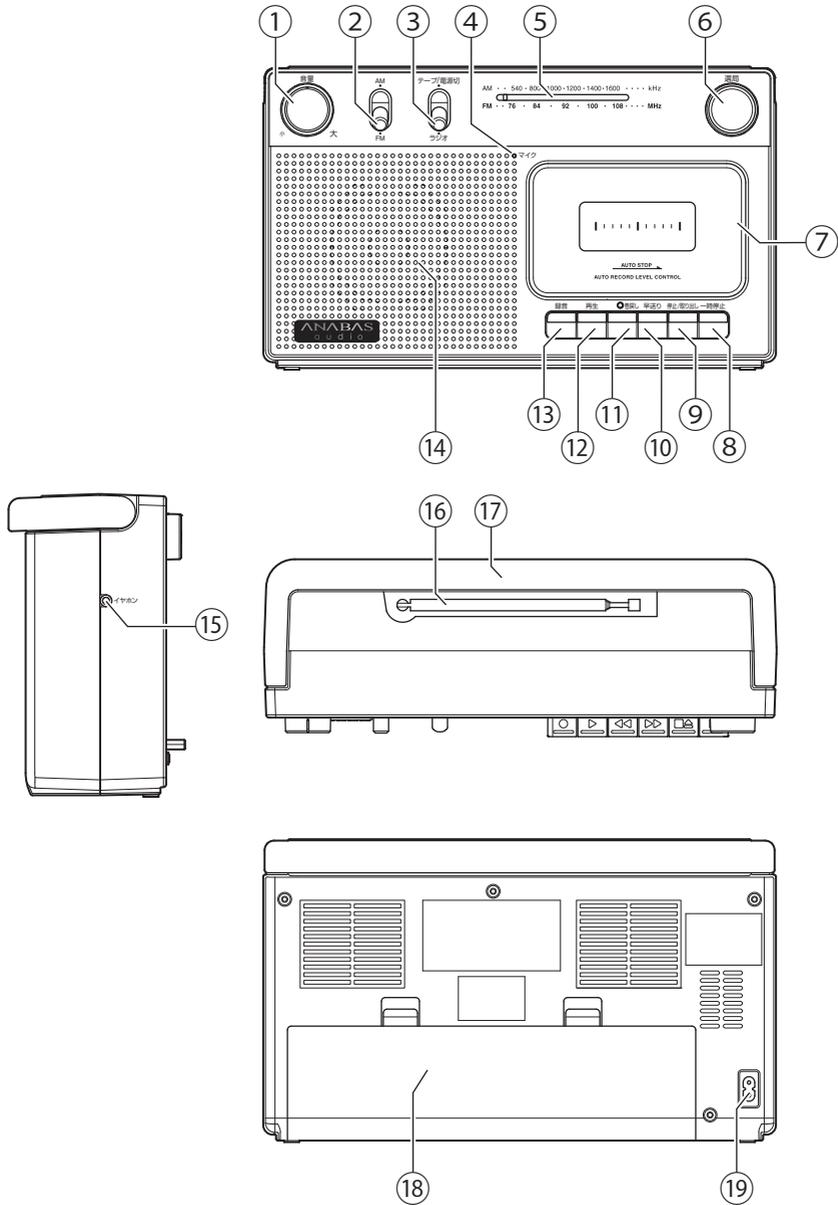


電源コード



保証書付き取扱説明書  
(本書)

# 各部の名前



## ① 音量ツマミ

スピーカーまたはイヤホンの音量を調整します。

## ② バンド切替スイッチ

ラジオのFM (FMモノラル)、AMを切り替えます。

## ③ 機能切り替え/電源スイッチ

ラジオ、テープの機能を切り替えます。

【テープ/電源切】に切り換え、カセットテープを停止すると、電源が切れます。

## ④ 内蔵マイク

## ⑤ 周波数表示部

受信したい局の周波数が表示されます。

## ⑥ 選局ツマミ

このツマミを回して受信したい局の周波数に合わせます。

## ⑦ カセットテープドア

カセットテープの停止中に、【■▲ 停止/取出し】ボタンを押すと開きます。

## ⑧ 一時停止ボタン

カセットテープの再生/録音を一時停止します。再度押すと再生を開始します。

## ⑨ ■▲停止/取出しボタン

カセットテープの再生/録音を停止します。停止中に押すとカセットテープドアが開きます。

## ⑩ ▶▶早送りボタン

カセットテープを早送ります。

## ⑪ ◀◀巻戻しボタン

カセットテープを巻き戻します。

## ⑫ ▶再生ボタン

カセットテープを再生します。

## ⑬ ●録音ボタン

カセットテープへの録音をします。

※ このボタンを押すと▶再生ボタンも同時に下がります。

## ⑭ スピーカー

## ⑮ イヤホン端子

お持ちのイヤホン(Φ3.5mm)を接続してください。

※ イヤホンを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

※ イヤホンは付属していません。

※ ステレオタイプのイヤホンまたはヘッドホンもお使いいただけますが、聞こえる音声はモノラルになります。

## ⑯ FMアンテナ

FM放送を受信時には、伸ばして使用してください。

※ AMアンテナは本機に内蔵されています。

## ⑰ ハンドル

本機を移動する時は、このハンドルを持って移動してください。

## ⑱ 電池ケースふた

このふたを外して、単2形乾電池を6本入れます。

## ⑲ 電源コード接続端子

付属の電源コードを差し込みます。

※ 接続するコードは必ず付属の電源コードを接続してください。他のコードを接続すると感電や火災の原因となることがあります。

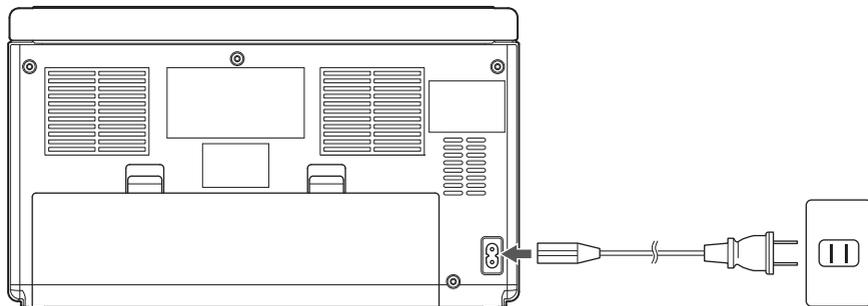
# ● 基本的な使い方

## ● 電源を準備する

家庭用電源または乾電池のいずれかで使用します。

### ● 家庭用電源を使う

1. 本機背面の電源コード接続端子に電源コードを接続します。
2. 接続した電源コードを交流100Vのコンセントに接続します。



※ 接続するコードは必ず付属の電源コードを接続してください。他のコードを接続すると感電や火災の原因となることがあります。



※ 濡れた手で電源コードの抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。

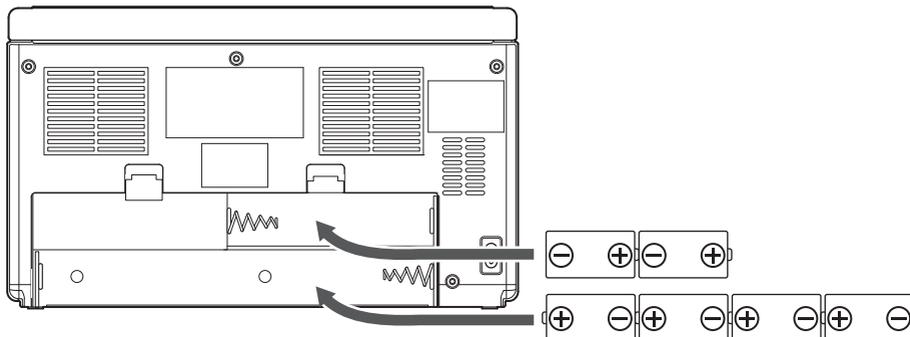
※ 万一の事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くことができるコンセントに接続してください。

### ● 乾電池を使う



※ 電池は付属されていません。単2形アルカリ乾電池を推奨いたします。単2形アルカリ乾電池を6本お買い求めください。

1. 本機底面の電池ケースふたを開きます。
2. 単2形乾電池の極性を確かめながら、乾電池を6本電池ケースに入れます。

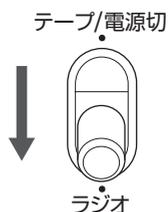


3. 電池ケースふたを閉めます。

## ●機能を切り替える（電源の入・切）

### 1. ラジオを聞くには、機能切替スイッチを【ラジオ】に合わせます。

- 機能切替スイッチを【ラジオ】に合わせると電源が入ります。



### 2. カセットテープを聞くには、機能切替スイッチを【テープ/電源切】に合わせます。

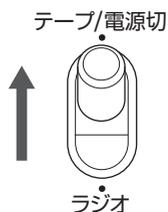
- 【▶再生】、【▶▶早送り】、【◀◀巻戻し】または【●録音】ボタンを押すと電源が入ります。



### 3. 電源を切るには

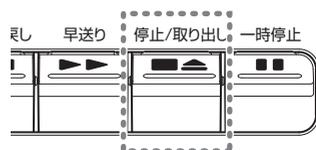
#### ■ ラジオのとき

機能切替スイッチを【テープ/電源切】に合わせます。



#### ■ カセットテープ動作中のとき

【■▲ 停止/取り出し】ボタンを押します。



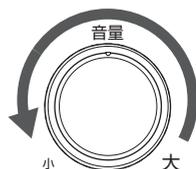
## ●音量を調整する

### 1. 音量を上げるには、音量ツマミを右側に回します。

⚠ ※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。



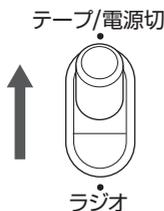
### 2. 音量を下げるには、音量ツマミを左側に回します。



# ● カセットテープの聞き方

## ● カセットテープを再生する前の準備

### 1. 機能切替スイッチを【テープ/電源切】に合わせます。



### 2. 【■▲ 停止/取出し】ボタンを押します。

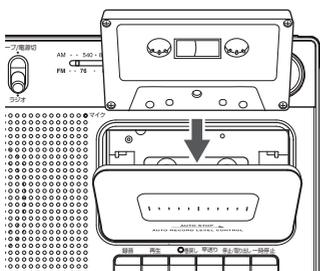


- カセットテープドアが開きます。

※ カセットテープドアは、必ず【■▲ 停止/取出し】ボタンを押して、開いてください。【■▲ 停止/取出し】ボタンを押さずに無理に開けようとする、カセットテープドアが破損します。



### 3. カセットテープを挿入し、カセットテープドアを閉じます。

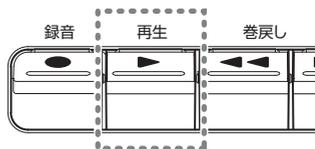


- カセットテープの再生する面を手前にし、テープ部が下になるようにカセットテープを入れてください。

## ● カセットテープを再生する

### 1. 【▶ 再生】ボタンを押します。

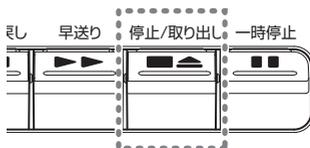
- 電源が入り、再生が始まります。
- 再生してテープが巻き取られると、【▶ 再生】ボタンは元の位置に戻り、再生は停止します。



### 2. 再生を一時停止するには、再生中に【⏸ 一時停止】ボタンを押します。



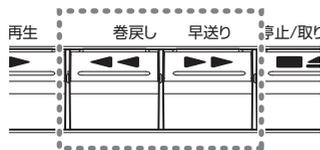
### 3. カセットテープを停止するには、【■▲ 停止/取出し】ボタンを押します。



- 電源が切れます。

## ● 早送り/巻戻しをする

1. 早送り/巻戻しをするには、【▶▶早送り】または【◀◀巻戻し】ボタンを押します。



- 希望の位置にきたら、【■▲停止/取出し】ボタンを押します。
- テープが巻き取られても、【▶▶早送り】または【◀◀巻戻し】ボタンは、元の位置には戻りません。【■▲停止/取出し】ボタンを押してください。
- 再生中は一度【■▲停止/取出し】ボタンを押して、再生を停止してから早送り/巻戻しをおこなってください。



※ 再生中に早送り/巻戻しをおこなうと、テープの巻き付きやテープ切れの原因となることがあります。

## ● カセットテープについて

### ● 使用できないカセットテープについて

#### ■ 120分の長時間テープ

- 120分の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込まれるおそれがありますので、使用しないでください。ノーマルテープ (TYPE1) をご使用ください。

#### ■ エンドレステープ

- 使用できません。

#### ■ テープがたるんだ状態のカセットテープ

- テープがたるんだ状態で使用するとテープの巻き付きの原因になります。テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってください。

## ● カセットテープの保管について

### ■ 次のような場所には保管しないでください

- ほこりの多いところ
- 磁石やスピーカーの近くなどの磁気の発生するところ
- 温度や湿度の高いところ
- 冷蔵庫など極端に温度の低いところ

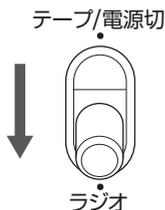
## ● 録音を消さないために

- 消去を防止するためには、カセットテープの上部にあるツメをドライバーなどで折ってください。
- 再度、録音できるようにするには、ツメを取り除いた穴の部分をセロハンテープなどでふさいでください。

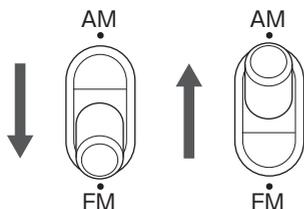
# ● ラジオの聞き方

本機はワイドFM (FM補完放送)に対応しています。ワイドFM(FM補完放送)とはAM(中波)放送局のエリアにおいて難聴対策や災害対策を目的としてFM放送の90.1～94.9MHz周波数を用いてAM局の放送をすることです。※ステレオ放送されている局を受信しても、本機ではモノラルで再生されます。

## 1. 機能切替スイッチを【ラジオ】に合わせます。

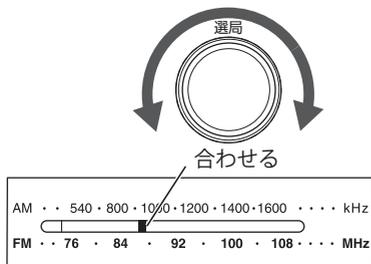


## 2. バンド切替スイッチを【FM】または【AM】に合わせます。



- ワイドFM (FM補完放送)をお聴きになるときは、【FM】に切り替えてください。

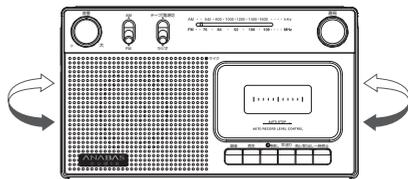
## 3. 選局ツマミを回し、聞きたい局を表示します。



- パソコンなどの電子機器が近くにあると、音声にノイズが入ったり、受信できないことがあります。パソコンなどの電子機器からは離してお使いください。

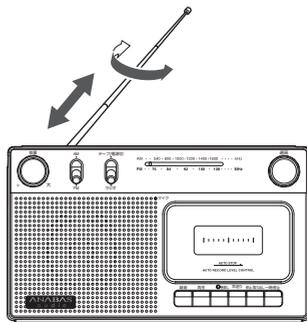
## ● アンテナを調整する

### 1. AM局を受信するには、AM局のアンテナは内蔵式ですので、本機の向きを変えます。



### 2. FM局を受信するには、本機背面のFMアンテナの位置を最も聞き取りやすくなる位置に設置します。

- FMアンテナはパソコンなどの電子機器からは、離して設置してください。

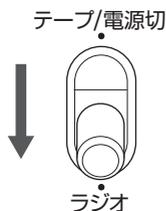


# ● カセットテープへの録音

## ● ラジオからの録音

ラジオからカセットテープへ録音ができます。カセットテープへの音量は自動で設定されます。

1. 機能切替スイッチを【ラジオ】に合わせます。

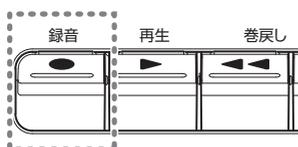


2. 録音したい局に合わせてます。(「ラジオの聞き方」12 ページ)

3. カセットテープの録音する面を手前にして挿入します。(「カセットテープを再生する前の準備」10 ページ)

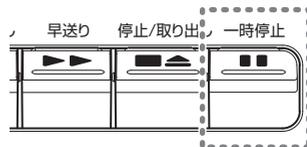
●カセットテープは上部のツメが折れていないものをお使いください。

4. カセットテープの【●録音】ボタンを押し録音を開始します。

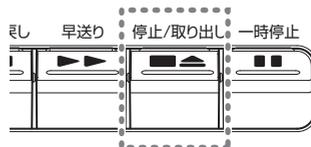


- 【録音】ボタンを押すと、【▶再生】ボタンも同時に下がります。
- 録音を一時停止するには、【||一時停止】ボタンを押します。
- 録音を停止するには、【■▲停止/取出し】ボタンを押します。
- 録音してテープが巻き取られると、【●録音】ボタンと【▶再生】ボタンは元の位置に戻り、再生は停止します。

5. 録音を一時停止するには、録音中に【||一時停止】ボタンを押します。



6. カセットテープを停止するには、【■▲停止/取出し】ボタンを押します。



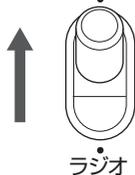
- 電源が切れます。

## ●内蔵マイクからの録音

内蔵マイクを使ってカセットテープへ録音ができます。

### 1. 機能切替スイッチを【テープ/電源切】に合わせます。

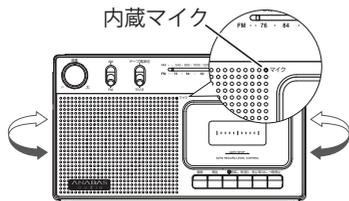
テープ/電源切



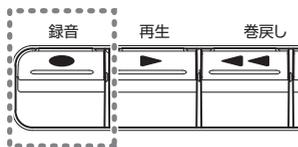
### 2. カセットテープの録音する面を手前にして挿入します。(「カセットテープを再生する前の準備」10 ページ)

- カセットテープは上部のツメが折れていないものをお使いください。

### 3. 内蔵マイクを録音したい対象に向けます。

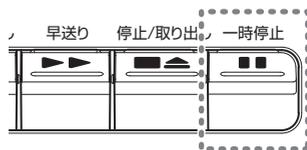


### 4. カセットテープの【●録音】ボタンを押し録音を開始します。

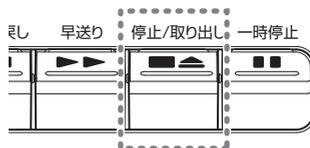


- 内蔵マイクに入ってくる音声を録音します。
- 【録音】ボタンを押すと、【▶再生】ボタンも同時に下がります。
- 録音を一時停止するには、【||一時停止】ボタンを押します。
- 録音を停止するには、【■▲停止/取出し】ボタンを押します。
- 録音してテープが巻き取られると、【●録音】ボタンと【▶再生】ボタンは元の位置に戻り、再生は停止します。

### 5. 録音を一時停止するには、録音中に【||一時停止】ボタンを押します。



### 6. カセットテープを停止するには、【■▲停止/取出し】ボタンを押します。



- 電源が切れます。

# ● イヤホン端子の使い方

お持ちのΦ3.5mmのミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンをお使いいただけます。イヤホンおよびヘッドホンは付属していません。市販のイヤホンまたはヘッドホンをお買い求めください。

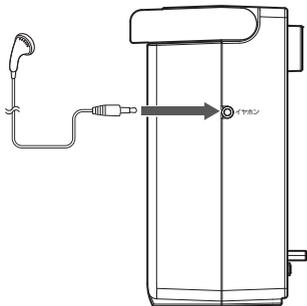
※ステレオタイプのイヤホンまたはヘッドホンもお使いいただけますが、聞こえる音声はモノラルになります。

## 1. 音量つまみを左側に回し、音量を最小にします。



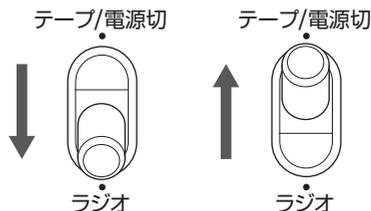
※音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。

## 2. イヤホン端子にΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンケーブルを接続します。



- イヤホンまたはヘッドホンケーブルが接続されると、スピーカーから音は出なくなります。

## 3. 機能切替スイッチを【ラジオ】または【テープ/電源切】に合わせ、選んだ機能の再生をおこないます。



## 4. 音量つまみをゆっくり右側に回し、聞きやすい音量にします。



# ● お手入れ



- ※ お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※ 電源プラグは絶対に水に浸けないでください。

## ● 本体のお手入れ

- 本機表面は乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- 本機表面の汚れがひどい場合のみ、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってから丁寧に拭いてください。
- ※ メラミンスポンジなど固いスポンジやたわしは使わないでください。傷の原因になります。
- ※ みがき粉やたわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

## ● 電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- ※ みがき粉、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

## ● テープヘッドのお手入れ

- テープを再生または録音すると、次のような症状が出る場合があります。  
音が悪い、前の音が残っている、きれいに録音できない、テープが巻きつく
- 上記の症状はほとんどの場合、ヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキットまたはクリーニングテープをお買い求めのうえ、ヘッド部分を掃除してください。掃除はできるだけ早め(約10時間程度使用ごと)におこなってください。

## ● テープヘッドの掃除のしかた

- ① **【■▲ 停止 / 取出し】** ボタンを押して、カセットテープドアを開いてください。
- ② 市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、テープが触れる面を軽く拭いてください。  
※ カセットテープはアルコールが完全に乾いてから入れてください。

# ● 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に一度以下の項目を確認してください。  
それでもなお異常があるときは使用を中止して、サポートセンターまでご連絡ください。

症状	ご確認ください
電源が入らない。	●電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
音声が聞こえない。	●音量は適切に調整されていますか。音量を調整してください。 ●受信周波数は合っていますか。また、AM/FMは正しく選択されていますか。選局ツマミを回してお聴きになりたい放送局に周波数を合わせてください。
スピーカーから音声が聞こえない。	●イヤホンまたはヘッドホンがイヤホン端子に接続されていませんか。イヤホンまたはヘッドホンが接続されるとスピーカーから音声は出ません。
カセットテープが入らない。 カセットテープドアが閉まらない。	●カセットテープの上下の向きは合っていますか。テープが下を向くように入れてください(P.10)。 ●カセットテープがカセットテープホルダーに入っていますか。カセットテープホルダーに正しく入れてください(P.10)。
テープが走行しない。	●カセットテープの不良ではありませんか。カセットテープを交換してみてください。 ●テープが薄い長時間テープを使用していませんか。90分以下のカセットテープをお使いください。
カセットテープ再生の音かとぎれる、音程がくるう、消去が不完全。	●テープヘッドが汚れていませんか。テープヘッドをお掃除してください(P.16)。 ●ハイポジションやメタルテープを使っていませんか。ノーマルテープをお使いください。
【●録音】ボタンが押せない。	●カセットテープのツメが折れていませんか。新しいカセットテープに交換するか、ツメが折れた部分をセロハンテープなどを貼ってください(P.11)。
内蔵マイクから録音ができない。	●録音する対象物に内蔵マイクは向いていますか、または本機と対象物と離れ過ぎていませんか。内蔵マイクを録音する対象物に向け、本機を近づけてください。
ラジオの音質が悪い。	●近くにパソコンなどの電子機器はありませんか。電子機器の影響でラジオの音質が悪くなる場合があります。 ●アンテナの向きは正しいですか。AM放送用のアンテナは内蔵されていますので、AM放送をお聴きの場合は、本機の向きを変えてください。FM放送をお聴きの場合は、本機背面のFMアンテナの位置を変えてください。

# 仕様

品名	ラジオカセットレコーダー
型名	RC-45
電源	100 V ~ 50/60 Hz DC 9 V (単2形乾電池×6本) ※乾電池は別売り
消費電力	10 W (待機時 0.7 W)
実用最大出力	1 W
受信周波数	FM 76.0 ~ 108 MHz / AM 522 ~ 1620 kHz
内蔵マイク	エレクトリック無指向性コンデンサマイク
付属品	取扱説明書(保証書付き:本書)、電源コード(長さ 1.8 m)
外形寸法	約270(幅)×74(奥行き)×157(高さ) mm (突起部含まず)
本体重量	約 1.2 kg

※本機の外觀および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。この商品は、日本国内用に設計、販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは対象外となります。

<div data-bbox="95 598 212 630" data-label="Section-Header"> <h2>愛情点検</h2> </div> <div data-bbox="84 654 229 790" data-label="Image"> </div>	<div data-bbox="296 582 599 614" data-label="Section-Header"> <h3>長年ご使用の機器の点検を!</h3> </div>
	<div data-bbox="274 670 386 758" data-label="Text"> <p>このような症状はありませんか?</p> </div> <div data-bbox="403 630 789 798" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コード、プラグが異常に熱い。</li> <li>● 電源コード、プラグに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。</li> <li>● 焦げくさい臭いがする。</li> <li>● 本体がいつもより異常に熱い。</li> <li>● その他異常や故障がある。</li> </ul> </div> <div data-bbox="845 646 1058 782" data-label="Text"> <p>故障や事故の防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。</p> </div>

# ● 保証とアフターサービス

## ● 保証書

- 保証書は、本書に添付されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入内容をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## ● 補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては販売店または弊社にご相談ください。

## ● 部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際には、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## ● 修理を依頼されるときは・・・持ち込み修理

- 「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。
- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

## ● 保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店または弊社にて修理させていただきます。  
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

## ● 保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。  
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 消耗品のご注文は販売店または弊社にご相談ください。

## ● アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

持込み先または送付先

株式会社太知ホールディングス  
サービスセンター

〒110-0005

東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階

☎ 03-5846-7211

メールでのお問い合わせ

E-mail:

taichitky@anabas.co.jp

ホームページ:

<http://www.taichi-holdings.com/>

電話でのお問い合わせ

☎ 03-5846-7211

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

## ● 個人情報の取り扱いについて

- 株式会社太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

## ● 補修修理の仕組み

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。		
技 術 料		故障した製品を正常に修復するための料金です。
部 品 代		修理に使用した部品代金です。

株式会社 太知ホールディングス  
**TAICHI HOLDINGS LIMITED**

<http://www.taichi-holdings.com/>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号 秋葉原村上ビル3階

お問い合わせ先: 電話03-5846-7211 FAX 03-5846-6639